

罹っちまいました「オミクロン」！

3週間ぶりのNLになります。しっかり当地で、大統領と同じ病に罹ってしまいました。ですが、大騒ぎする程の事は、ありません！普通の風邪の方が症状は「**きつい**です」陽性判定を受けても、生活は普通と全く変わらず。強いて言えばビクドロップと咳止め(市販薬)程度で済みます。日本で大騒ぎしているのは、マスコミや一部SNSが、症状の実情を伝えず、重症者のみを煽情的にクローズアップしているからに過ぎません。救急車をタクシー代わりに使える「日本の現状が」救急逼迫率と、病床占有率を異常に上げているのでしょう。37度から8度程度なら家で、解熱剤でも飲んで、じっとしていれば、既往症持ち以外、ウイルスが体内に残っていても、すぐに体調は元に戻ります。私らなんぞ“私とビンさん”が元凶で、家族全員が即日-2週間前に既に患って復活を遂げている完全抗体持ちの大学生の娘さん以外-簡単に皆、罹患しました。が、^{センセーショナル} 齢80をとうに超えた、ビンさんの親父さんは、流石に医者診察や処方薬(バイデンさんと同じパクスロビド)を処方されましたが、それでも、全て遠隔診療で、薬はデリバリーですし、私らは「放置プレー」でした。帰国時、阿呆な日本政府が求めているPCR検査は「高額」ですが、抗原検査キットは保険に加入している方には、漏れなく大量に「無料で」送届けられてきます(日本で処方箋が無いと貰えない、精密な奴です)。さてその様な環境下だったので、今回のNSS参加者は例年の1/10程度の寂しい有様ガラガラでした。



しかしアメリカいや世界は大変なんです！

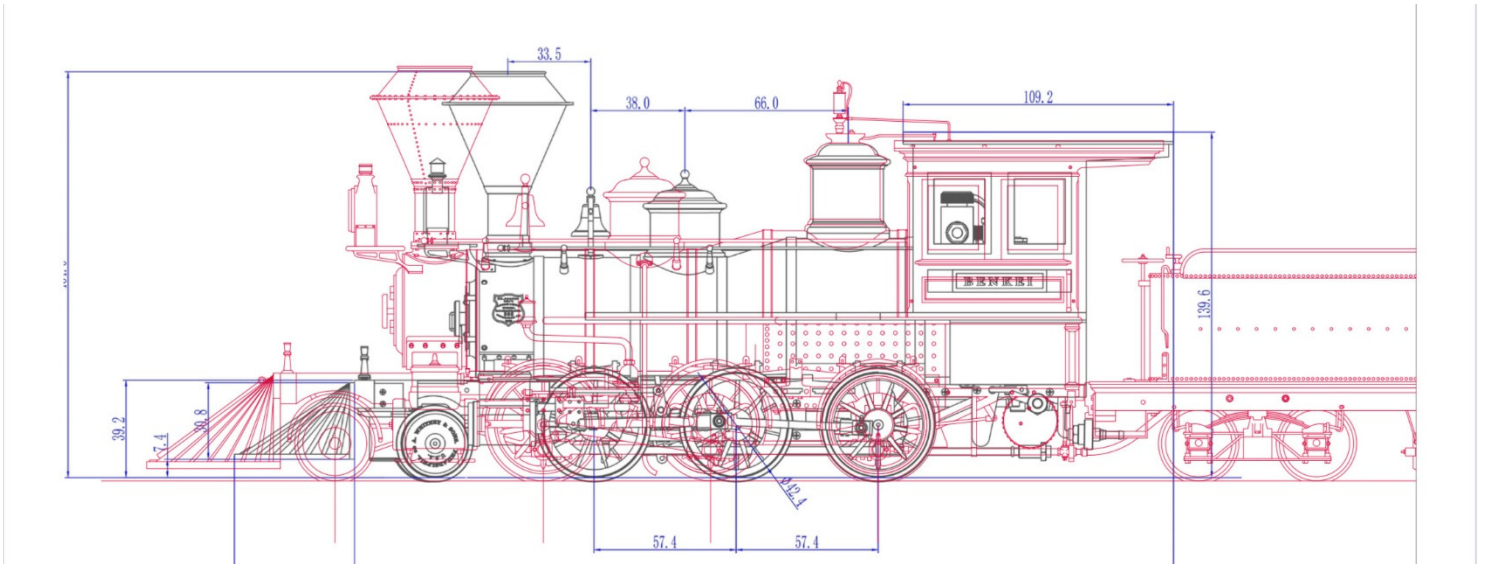
正直、お上が帰国して良いよと言う“お墨付き”陰性・ネガティブ判定が出るまで10日以上かかりましたが(7日目に陰性が抗原検査で出たので、勇んでクリニックに行きPCRを受けたら、陽性でした)その間ビンさんの家に、ほぼじっとして居た(嘘)のですが。そこから見えるサンフランシスコ湾にはコンテナ船が行列を成している有様が、はっきり見て取れました。(写真)



米国内(いや世界)の物流は、この病、症状は軽いが、人に移し易い病気の為、滞っています。実を言えば、Accu 本社に大量の荷物が届いていたのですが。それが中国から出荷されたのは、旧正月前(2月!)実に到着まで5ヶ月掛かっていたのです! 勿論、アメリカの物流の問題もありますが、元凶は中国共産党の「◇ー」の野郎の政策が原因であることは、明白です。



そこに来て弁慶! とんでもないミス指摘されました。要は長さ(ホイールベース)が違う! というモノでした。この差は、ちょっと! 誤差の範囲では無かったんです! (赤い線が実寸からの縮尺寸法、黒い線が試作品寸法)



CORONA で、当地に留まっていた2週間以上の時間、遠隔で、この違いを理解させ、再設計させる時間に消費したと言っても「過言」では、ありませんでした。そう言った訳でこの試作、お釈迦です。しかしバルブギヤやエンジン、動輪などの主要部品に対する再設計の必要は無かったので、この期間で納める事は出来ましたが、試作は再度作り直さなければならぬでしょうし、想像以上に大きくなります(エンジン部のサイズが、ボールドウィンサイズから、96のエンジンやC11並みのサイズになるでしょう)従って、価格は以前申し上げていたよりは上がります!(決定)

物価諸々

とは言え、日本の価格やはり世界的に見て安すぎます。我々も世界で最も安くガソリンを買っているのはアメリカ人だ! と錯覚していました。しかし産油国でもない日本の方が安いという事実気が付きました(写真参照、レギュラーガソリン1ガロン/約3.716.8ドル/約900円! 日本より平均50円リッター当たり高いです)。勿論、その物価上昇に見合う賃上げ、景気上昇が無かったのも日本ですが、それは、端的に言えば日本製品の国際競争力が、霞が関の“せい”で! 無くなったからだ。とも言えます。

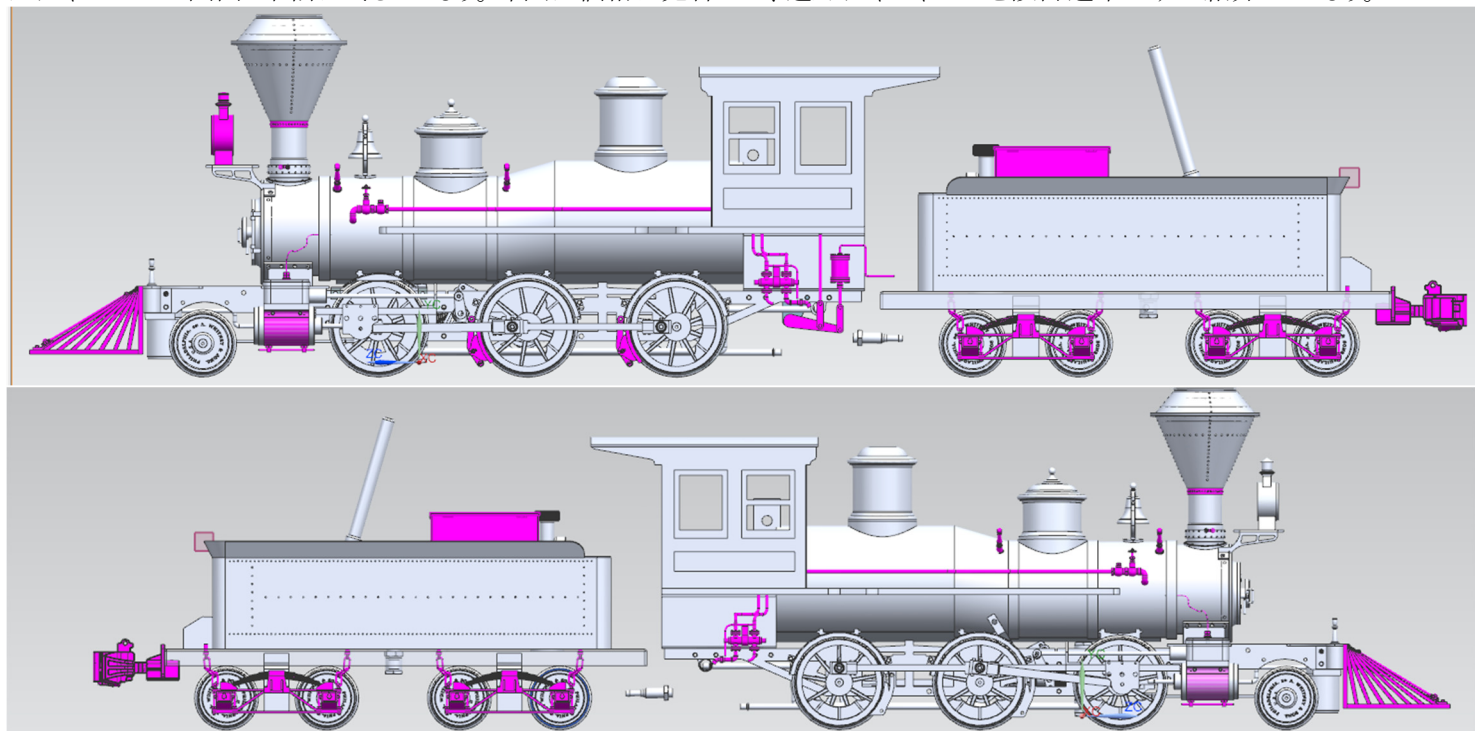
ストレイシープと言われ、お上(役所/行政や政治家)の言い成りになって従っていれば何とかなつた世の中は終わった。と言う事です。少し乱暴な言い方ですが、大きな政府によるポピュリズム(大衆迎合)的考えは捨て、個々人が自由な発想で伸び伸びと社会を構築できる為に、国家や行政による規制を徹底的に排除、緩和し個人が個人として考え、機会均等結果不平等を受け入れなければ、この国は沈没する事がよく解りました。



その様な訳で、試作は予定通り10月(東京駅上の東急ハンズと博多でお披露目)を目指しますが、皆さまのお手元にお届けできるのは、来年の春ごろになると思います。又価格は25万円代なんて夢物語で、やはりこの車格だと、40万を切る30万円台になる事が決定的になりました。しかしそれはアメリカ人(世界)が妥当と考える価格帯で在り、弊社ブランド製品として恥ずかしくない形に仕上げるためのコストで在る事をご理解下さい。

しかし、それなりに仕上げますよ！

価格は上がりますし、納期はこのクリスマスは、上記事情もあって全く以て無理な情勢ですが、設計は、着々と進み、お盆明けにはディカールの図面が出来てくるでしょう。今回は価格に見合った、追加ディティールを設計途中で紹介しましょう。



左右キャブ下、ダミーのインジェクターとブレーキリギング類一式を再現させます。またタンダー台車にはチェーンをつけ、タンダーのカプラーは大型のナックル(上イラスト参照尾)と展示用のパーティップを付け替えられるようにします。